

ノービア錠100mg

【この薬は？】

販売名	ノービア錠 100mg Norvir Tablets 100mg
一般名	リトナビル Ritonavir
含有量 (1錠中)	100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス薬（H I Vプロテアーゼ阻害薬）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬はH I Vプロテアーゼの働きを阻害することにより、感染性を持つウイルスの産生を阻害します。
- ・次の病気の人に処方されます。

H I V感染症

- ・この薬は他の抗H I V薬と併用されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化したり、効きにくくなったりするおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にノービア錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・次の薬を使用している人

キニジン硫酸塩水和物、ベプリジル塩酸塩水和物（ベプリコール）、フレカイニド酢酸塩（タンボコール）、プロパフェノン塩酸塩（プロノン）、アミオダロン塩酸塩（アンカロン）、ピモジド（オーラップ）、ピロキシカム（フェルデン、バキソ）、アンピロキシカム（フルカム）、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン）、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、エルゴメトリンマレイン酸塩（エルゴメトリン）、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（パルタン）、エレトリプタン臭化水素酸塩（レルパックス）、バルデナフィル塩酸塩水和物（レビトラ）、シルデナフィルクエン酸塩（レバチオ）、タダラフィル（アドシルカ）、アゼルニジピン（カルブロック）、アゼルニジピン・オルメサルタン メドキシミル（レザルタス）、リファブチン（ミコブティン）、ブロナンセリン（ロナセン）、リバーロキサバン（イグザレルト）、ロミタピドメシル酸塩（ジャクスタピッド）、ベネトクラクス〔再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期〕（ベネクレクスタ）、ジアゼパム（セルシン、ホリゾン）、クロラゼプ酸二カリウム（メンドン）、エスタゾラム（ユーロジン）、フルラゼパム塩酸塩（ダルメート）、トリアゾラム（ハルシオン）、ミダゾラム（ドルミカム、ミダフレッサ）、ルラシドン塩酸塩（ラツータ）、ポリコナゾール（ブイフェンド）

- ・腎臓または肝臓に障害がある人で、コルヒチンを使用している人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・血友病の人、著しく出血しやすい人
- ・心臓に障害のある人
- ・B型肝炎の人
- ・C型肝炎の人
- ・肝臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬（○次の人は、この薬を使用することはできません。を参照）や、併用を注意すべき薬及び飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	6錠
飲む回数	1日2回食後

ただし、飲み始めの時期は次のとおり少ない量から開始されます。

	一回量	飲む回数
初日	3錠	1日2回食後
2日目、3日目	4錠	
4日目	5錠	
5日目以降	6錠	

●どのように飲むか？

かんだり、砕いたりせずに、水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
 - ・この薬はH I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気の進行に伴うさまざまな症状があらわれたり、続いたりすることがあります。身体状況の変化があらわれた場合は全て医師に報告してください。
 - ・この薬を長く飲んだ場合の影響についてはわかっていません。
 - ・H I V感染症の治療薬による効果的なウイルス抑制は、性的接触による他者へのH I V感染の危険性を低下させることが示されていますが、その危険性を完全に排除することはできません。
 - ・H I V感染症の治療薬が、血液等による他者へのH I V感染の危険性を低下させるかどうかについては証明されていません。
 - ・医師の指示を受けずにこの薬の飲む量を変えたり、飲むことを止めたりしないでください。
 - ・この薬は他の薬との飲み合わせなどに注意する必要があります。現在使っている薬を全て医師に報告してください。また、新たに薬を使い始める場合はあらかじめ医師に相談してください。
- ・副作用の早期発見や薬の飲み合わせが安全であるかなどの確認のために定期的に血液検査などを行う場合があります。
- ・網膜に対する影響があらわれるおそれがあるため、定期的に眼科検査を行う場

合があります。

- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり悪化したり、自己免疫疾患*（甲状腺機能亢進症、多発性筋炎、ギラン・バレー症候群、ブドウ膜炎など）があらわれたりすることがあります。

*自分自身の正常な細胞や組織に対して過剰な免疫反応がおこるため発症する疾患

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・タバコやセイヨウオトリギソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品はこの薬の効果を下げることがありますので控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
錯乱 さくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをす る、行動にまとまりがない
痙攣発作 けいれんほっさ	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、 意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
脱水 だっすい	喉が渇く、体重が減る、立ちくらみ、めまい、疲れや すい、体に力が入らない、手足がつる
高血糖 こうけつとう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、 尿量が増える
糖尿病 とうようびょう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、 尿量が増える
肝炎 かんえん	体がだるい、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、発熱、 上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体 がかゆくなる、尿の色が濃くなる
肝不全 かんふぜん	意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、 体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急 激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅 色～暗赤色または黒色）
過敏症（アナフィラ キシー、蕁麻疹、皮 疹、気管支痙攣、血 管性浮腫） かびんしょう（アナフィラキ シー、じんましん、ひしん、 きかんしけいれん、けっかん せいふしゅ）	ふらつき、発熱、寒気、汗をかく、意識の低下、かゆ み、全身のかゆみ、喉のかゆみ、じんま疹、発疹、口 唇周囲のはれ、唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急 に腫れる、動悸（どうき）、喉がつまる感じ、声が出に くい、息苦しい、息がぜいぜいする、息をするとき ヒューヒューと音がする、突然の息切れ

重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死融解症(TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
出血傾向 しゅっけつけいこう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、体に力が入らない、ふらつき、疲れやすい、体重が減る、急激に体重が増える、発熱、寒気、汗をかく、顔や手足の筋肉がびくつく、出血が止まりにくい、体がかゆくなる
頭部	意識の低下、一時的にボーっとする、行動にまとまりがない、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、めまい、立ちくらみ
顔面	鼻血、唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
口や喉	喉が渇く、水を多く飲む、嘔吐、吐き気、口唇周囲のはれ、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血、血を吐く、喉のかゆみ、喉がつまる感じ、声が出にくい
胸部	動悸、息苦しい、息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
腹部	食欲不振、お腹が張る、上腹部痛
手・足	手足がつる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる、かゆみ、全身のかゆみ、発疹、じんま疹、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発
便	便に血が混じる(鮮紅色～暗赤色または黒色)
尿	尿量が増える、尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

形状	長いだ円形の錠剤		
			
	上面	下面	側面
			
	ボトル外観		
長さ（長径）	17 mm		
長さ（短径）	9 mm		
厚さ	6 mm		
重さ	790 mg		
色	白色～微黄白色		
識別コード	NK		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	リトナビル
添加剤	コポリビドン、モノラウリン酸ソルビタン、軽質無水ケイ酸、フマル酸ステアリルナトリウム、無水リン酸水素カルシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール400、ヒドロキシプロピルセルロース、タルク、マクロゴール4000、ポリソルベート80

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：アッヴィ合同会社

(<http://www.abbvie.co.jp/>)

くすり相談室

フリーダイヤル：0120-587-874

受付時間：9時00分～17時30分

(土、日、祝日、その他の当社休業日を除く)